



マナーを守ってハッピーに・・・！

校長 中郡 英一

スポーツの世界やビジネスの世界ではよく、「マナー」が大切と言われます。ゴルフのマナー、ビジネスマナー、テーブルマナー、慶弔のマナー等たくさんの方のマナーがあります。マナーコンサルタントの西出ひろ子氏は、マナーについて以下のような考えを示しています。

そもそもマナーは英語で、意味は「礼儀」という意味です。「礼」とは「思いやり」です。思いやりとは心の在り方や気持ちのことです。そして、もう一つの「儀」は「型、形」を意味します。そのため、「礼」が初めにあって、後から型や形が付いてくるのです。「心・気持ち」は目に見えないのでそれを伝えるために、「型・形」があるということです。気持ちを伝えるのは色々な方法があって良いと考えられます。マナーにも色々な形があっても良いのです。マナーは普段、他人と仲良くしていくためのものなので、自分を高めようとする武道とは根本的に違うものです。生まれ落ちた瞬間から人間は一人では生きていけないのですから、相手の立場になって相手が不快にならないようにお互いが気持ち良く生活を送るためのもの、もっと言えば、お互いがハッピーに生きるためにあるのがマナーなのです。

私はこの話を読んで、どのような場面にもマナーが存在することに改めて気付きました。授業中では友達の話や先生の話最後まできちんと聞く、手を挙げて指名されてから発言する、等マナーのような感じもしますが、これもマナーだと言えます。相手の立場にたって考える、相手を思いやることができるのがマナーだと知りました。鹿一小の多くの子供たちは一定のマナーを身に付けており、きちんとわきまえることができていると思います。マナーを守ってハッピーな学校生活を送れるといいですね。



鹿一小 ホームページ
QR コード



鹿一小 ブログ
QR コード

※鹿一小ブログ毎日更新中です。
(Blog is updated daily.)

☆☆ALT との授業☆☆

9月26日(月)は、ALT(assistant language teacher)の来校日でした。鹿浜第一小学校には、2～3ヶ月に一度、ALT が来て、担任と協力して英語の授業を行います。この日は、4年生と6年生のクラスで授業が行われました。4年生は、これまで学習してきた文房具の言い方や「Do you have ～？」

「I have～。」などの表現を使って、ALT や友達とコミュニケーションをとりました。6年生は、「I enjoyed～..」「It was～。」の表現を使って、夏休みの思い出や感想を伝え合いました。

子供たちは「なんとか頑張って聞き取りたい!」「もっと英語を使って話したい!」といった様子で、とても意欲的に学習しました。ALT とふれあうことを通して、子供たちは英語をより身近に感じたようでした。

【外国語担当】

